

今回は、関節リウマチや膠原病(免疫の異常によつて骨や軟骨などに炎症を起す病気の総称)といった免疫に関する病気について述べたいと思います。私が

医師として働き始めた約40年前、リウマチや膠原病で外来を訪れる患者さんの多くは、若い方や働き盛りの中年の方々でした。しかし、最近では高齢者の患者さんが増え、待合室でも高齢者の皆さんの姿が目立つようになりました。

これは医療技術の進歩により、リウマチや膠原病を抱えながらも長生きられるようになつたためです。また、年を取つてからこれらの病気を発症

する方も増えています。

痛みや腫れが見られるようになりますが、予後良好な

頭動脈炎は頭部の血管が炎症を起こす病気です。こめ

リウマチや膠原病は、免疫系が自分の体を攻撃する

ことで起る病気です。例え、多発性筋痛症は全身

の筋肉が痛くなる病気で、文字を取つたもので、まだ

かみにある側頭動脈の頭痛と発熱が見られ、夜間に悪化するのが特徴となつています。

日本語の病名は

これらは以前から高齢者に多く見られていました

が、最近では、関節リウマチやSLE(全身性エリテ



いわて医療通信 【免疫に関する病気のあれこれ】

付けられています

により見られていました

により、関節の破壊や機能障害を防ぎ、生活の質を保つことができます。近年は、

治療においては、関節リウマチやSLE(全身性エリテ

1. 関節リウマチなどの診療における最近の傾向

近では高齢者の患者さんが増え、待合室でも高齢者の

皆さんの姿が目立つようになりました。

これは医療技術の進歩により、リウマチや膠原病を抱えながらも長生きされるようになつたためです。また、年を取つてからこれらの病気を発症

50歳以上の中高年の方が多く発症します。RS3PE症候群は高齢者に多く見られ、手足のむくみや痛みを伴う病気です。手や肘、膝、鼻、耳、目など全身にさまざまな症状が現れます。側

せん。ANCA関連血管炎(マトーデス)といった若い人に多い病気も、高齢者で発症する例が増えてきています。

血液検査や画像診断技術(超音波やMRI)などの進歩により、より早く正確にリウマチを診断できるようになりました。

岩手医科大学

リウマチ・膠原病・アレルギー内科学講座

内丸メディカルセンターでは、紹介状の有無に関わらず受診が可能です。



仲 哲治